

GM 鶴牧-3 環の会

第 80 回クラシックを楽しむ会

2023 年 10 月 22 日(日)18:00~(2 時間 14 分)

タイトル : 歌劇「エルナーニ」(ヴェルディ)

会場等 : フィレンツェ五月音楽祭歌劇場 (イタリア) 公演
2022 年 11 月 10 日

楽団等 : フィレンツェ五月祭管弦楽団

合唱 : フィレンツェ五月祭合唱団

指揮 : ジェイムズ・コンロン

演出 : レオ・ムスカート

出演 : エルナーニ ...フランチェスコ・メーリ(テノール)

エルヴィーラ ...マリア・ホセ・シーリ(ソプラノ)

ドン・カルロ ...ロベルト・フロンターリ(バリトン)

ドン・ルイ・ゴメス・デ・シルヴァ ...ヴィタリー・コワリョフ(バス)

ジョヴァンナ ...クセニア・ツイウヴァーラス(メゾ・ソプラノ)

ドン・リッカルド ...ジョセフ・ダーダー(テノール)

ヤーゴ ...ダヴィデ・ピーヴァ(バス) 他



第 3 幕 国王暗殺者を選ぶ場。左:エルナーニ、右:シルヴァ

あらすじ

エルナーニ(アラゴンの貴族)は、父を国王ドン・カルロに殺され、山賊に身をやつして復讐を誓っている。エルナーニはエルヴィーラと相思相愛の仲。ところが国王ドン・カルロがエルヴィーラに横恋慕。さらにエルヴィーラの叔父シルヴァまでが彼女に結婚を迫る。ある夜、エルヴィーラの住まうシルヴァの城に偶然、別々に忍び込んだエルナーニと国王ドン・カルロが鉢合わせをし....



フィレンツェ五月音楽祭歌劇場(コムナーレ劇場)

フィレンツェ五月音楽祭と歌劇場

フィレンツェ五月音楽祭は 1933 年創設。歌劇場は 1862 年に設立され、音楽祭の上演はフィレンツェ・コムナーレ劇場(フィレンツェ市立劇場)他で行われる。フィレンツェ五月音楽祭管弦楽団は常設の楽団。

主要出演者はおなじみ

エルヴィーラ役 マリア・ホセ・シーリは、41 回(2017.3)蝶々夫人の 蝶々さん役

ドン・カルロ役 ロベルト・フロンターリは、25 回(2015.9) オテロの イアーゴ役

エルナーニ役 フランチェスコ・メーリは、22 回(2015.6)イル・トロヴァトーのマンリーコ役

第 81 回クラシックを楽しむ会(予告)

タイトル: 歌劇「ナブッコ」(ヴェルディ)

11 月 26 日(日) 17 時 30 分開場、18 時上映開始

チューリヒ歌劇場で上演された、「行けわが思いよ...」の合唱で知られる歌劇「ナブッコ」。出演はミハエル・フォレ、バンジャマン・ベルネーム、ゲオルク・ツェッペンフェルト、アンナ・スミルノワ、ヴェロニカ・シメオーニ他。(指揮)ファビオ・ルイージ、(管弦楽)フィルハーモニア・チューリヒ、(合唱)チューリヒ歌劇場合唱団。

あらすじ

【時と場所】

16世紀(1519年)のスペインと、ドイツのアーヘン

【登場人物】

エルナーニ(テノール) 山賊の首領。元々はドン・ファンという名の貴族

ドン・カルロ(バリトン) スペイン国王、後の神聖ローマ帝国 皇帝

ドン・ルイ・ゴメス・デ・シルヴァ(バス) スペイン大公

ドンナ・エルヴィーラ(ソプラノ) シルヴァの姪。エルナーニと相思相愛だが、シルヴァと婚約している

ジョヴァンナ(ソプラノ) エルヴィーラの乳母

ドン・リッカルド(テノール) カルロの従者

ヤーゴ(バス) シルヴァの従者

【第1幕】「山賊」

第1場 アラゴンの寂しい山中

山賊の首領エルナーニは、父が国王ドン・カルロに殺されたアラゴンの貴族で、復讐の機会を狙っている。愛するエルヴィーラが後見人の叔父シルヴァと明日結婚することになり、エルナーニはエルヴィーラを略奪しようと、部下を引き連れてシルヴァの居城に向かう。

第2場 シルヴァの居城にあるエルヴィーラの部屋の中

国王ドン・カルロが現れてエルヴィーラに愛を告白。エルヴィーラに拒絶され、力づくで連れ出そうとしたところに、エルナーニが現れてドン・カルロと争う。そこにシルヴァが入ってきて激怒し、決闘を申し込むが、相手の一人が国王ドン・カルロだと気づき、シルヴァは国王に許しを請う。

【第2幕】「客人」：シルヴァの居城。大広間

シルヴァとエルヴィーラの結婚披露宴の場。巡礼が現れシルヴァは客人として迎え入れ、シルヴァは花嫁を紹介する。巡礼は実は国王から賞金を賭けられているエルナーニ。自分の首を贈り物として差し出すと言うエルナーニに、シルヴァは客人を名誉にかけて命を守ると保証。エルナーニとエルヴィーラが抱き合っているところにシルヴァが入ってきて激怒。そこに国王が兵士とともに到着。シルヴァは復讐を後回しにしてエルナーニを隠す。シルヴァがエルナーニを引き渡さないため、国王はエルヴィーラを人質にし、シルヴァは国王を憎悪。二人は国王に対する復讐を誓い、エルナーニは角笛を渡して、自分の命を差し出す。

【第3幕】「慈悲」：アキスグラーナ(現ドイツ・アーヘン)、アーヘン大聖堂の中

神聖ローマ皇帝を選出するアーヘン大聖堂。国王ドン・カルロは暗殺者たちの陰謀を察知して隠れる。ドン・カルロが神聖ローマ皇帝に選出され、ドン・カルロは反逆者の逮捕・処刑を衛兵に命じる。エルナーニが名乗り出たとき、エルヴィーラが命乞いをする。皇帝となったドン・カルロは大帝の慈悲にならい、エルナーニとエルヴィーラの結婚を認め、反逆者たちを許すが、シルヴァだけは復讐を誓う。

【第4幕】「仮面」：サラゴサにある、ドン・ファン(エルナーニ)の館

ドン・ファンとなったエルナーニとエルヴィーラの結婚を祝う仮面舞踏会。二人が幸福に酔いしれているとき、誓いの角笛が聞こえる。シルヴァは仮面をはずして約束の実行をせまる。

感想

主人公エルナーニは、父親が国王ドン・カルロに殺され没落した貴族で、父親の復讐を誓って山賊を率いる首領なのに、投げやりで、すぐ死にたがる単純な男。

エルナーニの仇敵カルロス5世は、恋人エルヴィーラを横恋慕。ところが神聖ローマ皇帝に選ばれると、気が大きくなって、恋敵エルナーニと恋人エルヴィーラの結婚を認め、居城の復興まで許す大盤振る舞い。

貴族シルヴァは、姪のエルヴィーラと無理矢理結婚しようとしていた男。エルナーニを殺そうとしたり自分の命を捨てても彼の命を救おうとしたりと、状況に応じて行動が極端に変わる。最後は・・・。

荒唐無稽な、登場人物たちの唐突な心変わりや、行動を気にしなければ、素晴らしい音楽と、当代一流の歌手たちの歌唱が楽しめる。

主な出演者



ホセ・シーリ



フランチェスコ・メーリ



ロベルト・フロンターリ



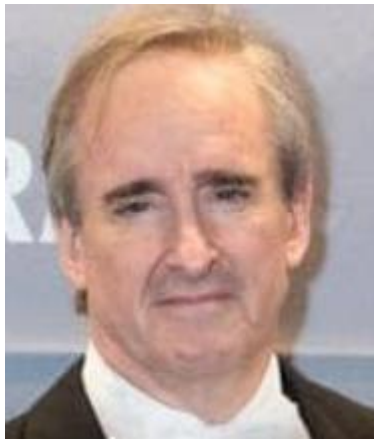
ヴィタリー・コワリョフ

マリア・ホセ・シーリ（1976 - ）は南米ウルグアイ出身のソプラノ歌手。世界の主要歌劇場で、ヴェルディ、プッチーニの主要作品のタイトルロール、プリマドンナ役を務めている。ヴェローナ野外劇場では2015年から5年間アイダ役を演じ、その間にはモーツァルトの歌劇「ドンジョバンニ」のドンナ・エルヴィラ役も演じている。

フランチェスコ・メーリ（1980 - ）はイタリア生まれのテノール歌手。ヴェルディの歌劇イル・トロヴァトーレのマンリーコ役、ドン・カルロ役などで世界の主要歌劇場に出演している。

ロベルト・フロンターリ（1958 - ）はイタリアのバリトン歌手。当代最も重要なバリトン歌手のひとりと言われている。

ヴィタリー・コワリョフ（1968 - ）はウクライナ生まれ、スイス在住の世界的バス歌手。40以上の役を演じる。ロベルト・ドルンヘルム監督のラ・ボエームの2008年の映画にも出演している。



ジェームズ・コンロン



レオ・ムスカート

ジェームズ・コンロン（1950 - ）はアメリカ合衆国の指揮者。現在はもっぱらヨーロッパにおいて、管弦楽曲とオペラの両面で活躍中。

レオ・ムスカートはイタリアの映画監督・舞台演出家。スカラ座、フェニーチェ劇場などイタリア中心にヨーロッパで活躍中。

参考

スペイン王ドン・カルロ(1500 - 1558)が神聖ローマ帝国皇帝になった当時のヨーロッパ歴史地図



先帝マクシミリアン1世が59歳で1519年に死去し、孫のスペイン王※1カルロス1世(ドン・カルロ)が19歳で皇帝に選出され、神聖ローマ帝国皇帝カール5世(カルロ5世)となった。(ウィキペディア)

※1 スペイン王(カスティーリャ王、レオン王、アラゴン王、ナバラ王、バレンシア王、マヨルカ王、…)



少年時代のカール

晩年は体調を崩し嫡子フェリペ※2にスペインを、弟フェルナンドに帝国を譲り引退した。
※2 スペイン帝国・スペイン黄金世紀の最盛期に君臨した偉大なる王で、絶対主義の代表的君主の一人とされている。その治世はスペイン帝国の絶頂期に当たり、ヨーロッパ、中南米、アジア(フィリピン)に及ぶ大帝国を支配し、地中海の覇権を巡って争ったオスマン帝国を退けて勢力圏を拡大した。さらにポルトガル国王も兼ね、イベリア半島を統一すると同時にポルトガルが有していた植民地も継承した。その繁栄は「太陽の沈まない国」と形容された。(ウィキペディア)